

みずほCustomer Desk Report 2018/09/11号(As of 2018/09/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.97
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	110.92	1.1560	128.20	1.2927	0.7114
SYD-NY High	111.24	1.1617	129.07	1.3052	0.7132
SYD-NY Low	110.85	1.1525	127.87	1.2898	0.7097
NY 5:00 PM	111.12	1.1595	128.85	1.3027	0.7114
NY DOW	25,857.07	▲ 59.47	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,924.16	21.62	日本10年債	0.1100	0.00bp
S&P	2,877.13	5.45	米国2年債	2.7130	0.84bp
日経平均	22,373.09	66.03	米国5年債	2.8237	0.51bp
TOPIX	1,687.61	3.30	米国10年債	2.9342	▲ 0.36bp
シカゴ日経先物	22,450.00	100.00	独10年債	0.3995	1.25bp
ロンドンFT	7,279.30	1.60	英10年債	1.4665	0.90bp
DAX	11,986.34	26.71	豪10年債	2.5825	3.70bp
ハンセン指数	26,613.42	▲ 360.05	USDJPY 1M Vol	6.68	0.02%
上海総合	2,669.48	▲ 32.82	USDJPY 3M Vol	7.33	▲ 0.16%
NY金	1,199.80	▲ 0.60	USDJPY 6M Vol	7.78	▲ 0.03%
WTI	67.54	▲ 0.21	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	191.02	0.66	EURJPY 3M Vol	9.18	▲ 0.10%
ドルインデックス	95.15	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	9.45	▲ 0.06%

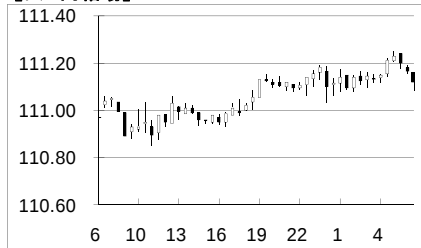
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月10日	08:50	日 GDP(前期比/前期比年率)	2Q 0.7%/3.0%	0.7%/2.6%
	08:50	日 経常収支	7月 ¥2,009.7B	¥1,893.2B
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	8月 2.3%/4.1%	2.1%/4.0%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 0.1%/0.9%	0.2%/1.1%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	7月 -0.2%/1.1%	0.2%/1.4%
	17:30	英 貿易収支	7月 -£111B	-£2,100B
	17:30	英 GDP(前月比)	7月 0.3%	0.1%

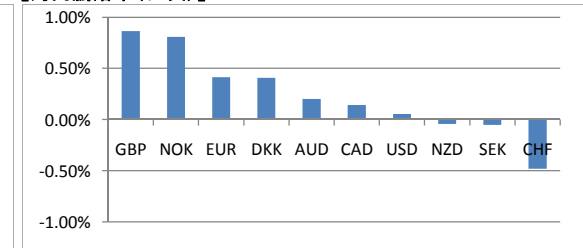
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月11日	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	7月 4.0%	4.0%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	9月 72.0/-13.0	72.6/-13.7
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	7月 0.7%	0.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.1550-1.1670	128.00-129.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円は新規材料に欠け111円台前半で動意薄の展開。バルニエ英主席交渉官がEU離脱交渉は6-8週間以内の合意が可能と楽観的な見通しを示したことを受け、ポンド円が上昇する中、ドル円も連れ高となる局面が見られたものの、相場を牽引するには至らず、その後は大きな動きなく111.13でクローズ。引き続き米中貿易関連では先行き不透明感が強く、相場が大きく傾く展開は想定しにくく、ドル円は上値の重い展開が継続するものと思われる。

東京	東京時間のドル円は110.92レベルでオープン。中国の8月CPI、PPIは事前予想を若干上回ったものの、相場に対する反応は限定的。その後も特段の材料もない中、111円近辺で動意に乏しい展開。20銭程度の狭いレンジでの推移となり、110.95レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.95レベルでオープン。米中の貿易摩擦の懸念がくすぶる中、ドル円は動意薄の展開で110.93-111.15狭い値幅での取引だった。欧州株が上昇する中でやや円売りが見られ、111.10レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1554レベルでオープン。立ち上がりはアジア時間のドル買いが続き一時1.1525まで売られたが、イタリア国債金利が低下したことなどからセンチメントが好転し、欧州株が買われるとユーロ買いとなった。1.1584まで買い戻され1.1572レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2920レベルでオープン。アジア時間の流れを受けて程なく1.29の大台を割り込み1.2898まで下落。しかし朝方発表の英7月鉱工業生産は若干予想を下回ったが、7月の英GDPが約1年ぶりの高水準となったことを好感一時1.2957まで買われる。その後は伸び悩み1.2939レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.10レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方はEUのバルニエ英主席交渉官が6-8週間以内にブレグジットが現実的になるとの見解を示したこと、ポンド円が急伸する展開に111.19まで上昇。その後一旦111.03まで反落するが、「米国はトランプ大統領と金委員長との会談の調整準備中」とのヘッドラインが伝わったことから、111.24まで上昇し、111.12レベルでクローズした。一方、週末にイタリア財務相の「債務負担が削減が同国の市場におけるポジションの鍵である」等、債務圧縮を強調するような発言が伝わったことから海外市場で下げ跌ったユーロドルは1.1572レベルでNYオープン。朝方は、前述のバルニエ氏の発言を受けユーロ買いが強まり、1.1617まで上昇するが、10日の独ZEW景気期待指数や13日のECB理事会を控へ、1.16ちょうど付近での推移が続き、1.1595レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・田家